



す ま い る



箱根教育合言葉「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」

新年度を迎えた4月1日には、雪が降り出勤する頃には、芦ノ湯辺りから道路にも雪が積もり除雪車が入るほどでした。箱根地区の春はまだまだ遠いのかと思っていましたが、子ども達が進級する7日には園庭のムスカリやミツマタが色づきだし、今、園周辺は、マメザクラなどが満開です。子どもは、外に出るとその自然の変化にすぐに気が付き道端に咲く、すみれの花に心を寄せ「きれいだね。」と言ったり、つくしを見つけて「お母さんにお土産」と言ってたくさん摘んだりし、春の訪れを楽しんでいます。

今年度、箱根幼稚園は年長児1名年中児2名、計3名のスタートになりました。新学期を迎えた日には、進級した喜びを抱きながら、年長児の麦歩さんがお祝いにモールで作った「プレスレット」をもって登園してきました。3月まで6人で過ぎてきた思いが強かったので、プレゼントもつい6人分作ってしまったようです。お揃いのプレスレットをみんなで付けて、お祝い気分を味わいました。これからも様々な実体験を通して、保育を進めていきたいと思ひます。どうぞ1年間ご協力お願いいたします。

はなまつり

4/8には、興禅院さんからお招きを頂き、今年も花まつりに伺いました。華やかな花御堂に安置されたお釈迦様に甘茶を注がせて頂きました。昨年の経験を覚えていた年長児が見本になり、年中児も真似てみましたが「できるかな？」と緊張する姿もありました。いつもと違った厳かな雰囲気を感じ取ったようです。甘茶を頂いた後、お庭にあるつくしを摘ませて頂き、「進級のお祝いですよ。」とお菓子や果物のお土産を頂いて帰ってきました。なかなか経験できることではないので、小さな子ども達にとってはいつまでも記憶に残る経験になったと思います。お招きありがとうございます。



今年度は箱根町教育方針第3期の最終年度になります。これまでの成果と課題を明確にし、新たな取り組みにつなげていかれるようにしたいと考えています。

共有 「ありがとう」という声が響く園づくり (4園共通) 個性化「一人一人にきめ細やかな保育が展開できる園づくり」

また、これに加え、今年度は「コミュニティー幼稚園」をテーマに、地域における幼稚園の役割を考えていきたいと思ひます。昨年度はコロナ禍でしたが、工夫をしながら地域の方、保護者の方の専門的知識を保育の中に取り入れてきました。今年度も、様々な人との関わりの中で豊かな経験を積んでいくことと幼稚園が人と人をつないでいけるような場になることを願っています。地域の方にも、「園と一緒に〇〇しませんか?」「〇〇を教えてください。」などのお知らせをさせて頂くことがあるかと思ひます。逆に地域の方からのお誘いも楽しみにしています。この素晴らしい箱根で共に感じ、考え、楽しんでいきたいです。ご協力お願いいたします。

職員紹介

主査・4.5歳児担任 勝俣 京代恵

庁務員 村田 照美

副園長・4.5歳児副担任 白川 三枝

園長 金井 潤子

関望先生は、昨年度同様週に1回程度、預かり保育にきてくださいます。

*昨年度と変わらないメンバーで結束力強く、また新たな気持ちで頑張っていきます。どうぞよろしくお願ひいたします。



下校途中の1年生との再会に大喜びでした!

芦ノ湖クリーン大作戦! 第1弾!!

地域への興味、関心、感謝の気持ち、自然保護などの芽生えを持ってほしい保育者の願ひと散歩に行くと落ちているごみに気付く子どもの姿から始まったゴミ拾い。特製の旗をもって、今年度は4/13にまずは箱根方面から始めました。杉並木にペットボトルやお菓子の袋を見つけて、トングでつまみゴミ袋へ。しかし、なかなか見つからないゴミに(幸せなことですが)宝探しのような気分でごみを探していました。この日は、暖かく、気持ちの良い日。桜の可愛らしいピンクに目をみはり、地域の方とのおしゃべりを楽しみながらのクリーン大作戦です。「偉いね」「ありがとうね」と地域の方に感謝され子ども達は自分のしていることに意義を感じたようです。そんな温かな地域の方の眼差しが私達にとっては、何よりもありがたいことです。途中、駒形神社では手水の仕方、他ではわかさぎや鹿の居場所を教えてくださいました。ゴミ拾いだけで終わらずたくさんの方の思いや地域を知ることができた1日になりました。緑のビブスと手作りの旗が目印です。次回は、元箱根方面です!